

トンネル坑口周りの地形を考慮した微気圧波放射モデル

宮地徳蔵

本報告では、トンネル坑口まわりの地形がトンネル微気圧波に与える影響を精度よく再現するため、境界積分表示式に基づく理論解析を行い、新しい微気圧波予測モデル（多重極音源モデル）を提案した。次に、本モデルを検証する模型実験を行い、地形の影響を簡略化していた従来の予測モデル（放射立体角モデル）に比べて、本モデルはやや簡便性に欠けるが、微気圧波の予測精度がより向上することを確認した。

（鉄道総研報告，2010年9月号）

